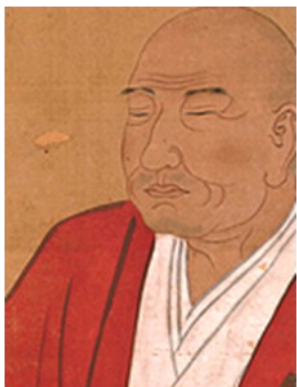


日本には江戸時代、視覚障がい者(盲人)の官職が存在しました。その最高位である検校の地位を勤めた杉山和一は近代日本鍼灸の中興の祖とされています。和一は江戸時代初期(西暦1680年頃)、将軍・徳川綱吉の鍼治振興令を受けて、鍼・按摩技術の取得と教育を目的とした世界初の視覚障がい者教育施設「杉山流鍼治導引稽古所」を開設し、多くの優秀な鍼師や按摩師を輩出しました。和一が江戸時代、視覚障がい者に対し鍼・按摩の教育を行い、盲人の職業としての礎を築いたことが、明治以降の盲学校設立へと繋がり、職業教育として鍼・按摩を定着させたと言えるのです。



杉山和一肖像

その後、幾多の困難と時代の変遷を乗り越え、現在ではアジアを中心に、欧米諸国から

も理療の技術や教育ノウハウの伝承に期待が寄せられています。また、日本の多くの視覚障がい者が世界各国で、同じ障害を有する人々の職業・社会自立を支援するために活躍しています。日本理療科教員連盟(理教連)は、全国組織の力を結集し、他国では例を見ない、日本の歴史と文化に裏打ちされた視覚障がい者にとっての鍼・按摩を、さらに発展させ、後世に引き継いでいきます。

～手を取って指導することの大切さ～

触れることは理療施術の原点。そして、それは視覚障がい教育の原点でもあります。

視覚のハンディは時に類まれな触察力を生み出します。だからこそ、江戸時代鍼や按摩は盲人の職業として位置づけられました。

そして、その伝統が脈々と今に受け継がれています。

我々理療科教員は、自らが培ってきた知識と技術を、生徒の手を取る指導によって伝えています。



生徒の手を取って熱心に指導する栗原会長

**Japan Association
of Massage
& Acupuncture
Teachers**

**日本理療科教員連盟
(理教連)**

《事務局》

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場1-9-23

東京都盲人福祉協会内

TEL・FAX 03-5287-6601

E-mail

rikyouren-

jimukyoku@coffee.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://rikyouren.com>

私たちの活動

全国の盲学校（特別支援学校）、厚生労働省管轄の視覚障がい者センター、大学等において、視覚障がい者に対して按摩マッサージ指圧、鍼、灸（これらを総称して理療といいます）の国家資格を取得させ、職業・社会自立を支援するための教育が行われています。日本理療科教員連盟は、こうした理療教育に関わる教職員等の会員で構成される任意団体で、昭和27年に結成されました。現在、以下の専門部・委員会を常設し、様々な活動を行っています。

教育研究部

理療の普及と発展に関わる研究の推進、研究・研修会の企画、学術誌「理療教育研究」の発行

進路対策部

卒業生の就労・職場開拓に関わる情報提供、研修会の企画、企業等へのPR活動、行政との連携

法制部

理療に関わる諸制度の改善を求める活動、視覚障がい者の福祉の増進を図る活動、盲学校等職場環境改善に関わる活動

調査部

盲学校実態調査、卒業生実態調査等、各種調査活動

広報部

広報誌「理教連情報」の発刊、メーリングリストの運用、ホームページ（一般向け・会員向け）の設置

国家試験対策部

全国模試の作成及び実施、国家試験に対する意見集約・受験環境の充実に関する取り組み・合格率の集計等

教科書委員会

理療関係科目の教科書、参考書等の執筆、教科書に関する意見集約、出版社との折衝、電子書籍の普及に関わる事業

その他、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師に関わる7団体で構成される「あはき法等推進協議会」等、他団体と協調し、理療の発展・視覚障害福祉の増進に関わる活動を行っています。